

高瀬神社 社報

# 越中一宮



第53号

越中高瀬神社  
一宮

平成 29 年 4 月 1 日

<http://www.takase.or.jp/>

撮影：南部スタジオ

社頭講話

## 「故郷の早春と思い出」

宮司 藤井秀弘

もがりぶえ

北風が虎落笛を吹きながら、遠い北の国から日本海を渡って日本列島にやって来ると、日本海沿岸の平野や山々は白いお化粧をして、長い三ヶ月程の間、寒い日々が続き、曇った空から綿屑みたいな雪が毎日降って、雪国の人々はいろいろな心配と付き合う生活をせねばなりません。例えば、屋根に積った雪の心配、道路の心配、子供たちの通学の心配等、たくさん

の心配が生まれて雪のないときに考えられない事が、冬の間、常に心配と対策を考えねばならないのが雪国の人々生活です。早く冬が終り、暖かい春なればと神々に祈りたく

なります。四季の中で一番いやだと思ふ季節は冬であることは言うまでもありません。三月中旬から下旬になりまして、三寒四温と代わる代わるに寒さと暖かさがやって来て、雪国の大人たちも子供たちも暗い感情から明るく暖かい思いに変って、一日一日の生活に潤いが生まれるようになります。私は三十五年の教職生活を経験しましたが、その三十五年の中、二年間、上平中学校（現南砺市）に勤務したことがあります。僻地の学校で、冬に三メートル〜四メートル程の積雪で陸の孤島となり、町からの郵便も新聞も一日遅れで届けられる冬、そう

して屋根までとどく多い積雪で家の内は暗く、昼も電灯が灯る、そんな日々が三ヶ月以上続く生活から春になって雪が解け、村の中を通る県道や国道も冬から解放されると、山の向うの町からバスが峠を越えてやって来ます。「バスが来た」と、バスの後を追いかける子供たちの姿に春の訪れを感じ、この子供たちの様子が私の心に深く刻まれており、今でも雪が解ける早春になると、どこからともなく心に湧いて来ます。

雪国の早春と山々と雪解け、そうして野良仕事の始まりについての伝承が多くありますが、例えば、砺波地方の山々の中に海拔九八七メートルの牛嶽と呼んでいる山があります。早春の頃に牛の形に解けるその雪解けが牛の頭から解けるか、尻から解けるかが、その年の豊作を占うことになると言った伝承が残されています。また苗代をつくる作業を始める頃を教えられると信じ、山岳信仰的な要素を有し、頂上に社殿が建てられ「牛嶽神社」があり、麓の村に鎮座する氏神さまの社名も「牛嶽神社」、「宇志多氣神社」となって、遠く富山市婦中町、八尾町にまで神社が分布しているようです。

先日、テレビ放送の中で長野県の安曇野地方と北アルプスの雪解けと農作業の関係について放送されているのに古代文化の発生を教えられた思いがしました。また秋田県、山形県等の東北地方にも雪解けと農作業と言った多くの伝承が残されていることに、雪国の生活を希望と労働、四季と人間生活、そうして苦しみを楽しみにかえて生活する姿と神々の伝言を耳にする思いがしました。

# 祭事暦

## 節分祭

二月三日午後三時より百名を超える参列者のもと「節分祭」を斎行しました。

祭典では祝詞奏上、神楽「剣の舞」の奉奏に続いて、「豆まきが行われました。」

参列者は大国様の「福」をいただごうと、両手をいっぱい広げて、熱心に福豆を集めていました。



## 紀元節祭



今年皇紀二六七七年となります。去る二月十一日午前十時より「紀元節祭」が行われ、神

武天皇の建国の偉業を偲び、我國の繁栄と世界の平和を祈りました。本年も福野松風会（大聖寺弘会長）により建国を祝い、吟詠が奉納されました。

—奉納曲—

【御本社】

「武野の晴月」 林羅山

「生田に宿す」 菅茶山

「戊子の夏諸生と月を見て偶成る」 中江藤樹

「壇の浦夜泊」 木下犀潭

【功靈殿】

「松前城下の作」 長尾秋水

「夜墨水を下る」 服部南郭

## 祈年祭（大祭）

二月十七日午前十時より、五穀豊穰と産業発展、国家安泰を祈願する「祈年祭」が斎行され、氏子崇敬者四十五名の参列がありました。

祭典では神楽「浦安の舞」の奉奏に続き、井波松風会による吟詠が奉納されました。

—奉納曲—

「日」明治天皇御製

「越中一宮高瀬神社を拝す」

金井浣風



## 鎮火祭



三月八日午前十時より「鎮火祭」を斎行し、氏子・地元消防関係者と火の恵みに感謝し、一年の無火災を祈りました。本殿に

て、祝詞奏上、神楽「剣の舞」の奉奏に続いて、参集殿前にて「鎮火行事」を行いました。故事に基つき、篝火に禰宜と南砺市消防団井波方面団高瀬分団・岩倉清孝分団長が瓢の「水」を、続いて笠田武司副分団長が「川菜」を、次に中嶋範英班長が「土（砂）」をかぶせ消火し、行事を終えました。





# 平成二十九年 初詣

昨年に続いて暖冬となった今年、雪のない境内には、富山県内をはじめ石川県や岐阜県からも多くの参拝者が訪れ、三が日は約二十万人の方がお参りされました。

社頭には、厄祓や商売繁昌などの新年初祈禱を受けられる方や本殿前の「なでうさぎ」を撫でようとする参拝者が列を成し、英霊をお祀りする功霊殿にもたくさんの方がお参りされていました。

七十六名の奉仕巫女さんたちは、清々しい笑顔で参拝者をお迎えし、大神様に代って福をお分かちしました。

本年も南砺警察署をはじめ、関係各位のご協力を賜り無事終了できましたことに厚く御礼申し上げます。



# 平成二十九年正月 初詣句会

一月三日、福野糸瓜句会（梅島くにを会長）の「初詣句会」が開催されました。奉納句は次の通りです。

なつかしや昔の社務所昔の炉	梅島くにを
元朝や瓦を伝ふ雨の音	宇波可津志
木の香る木彫の里の三日かな	平野 孝純
千年の森にお降り深む閣	名村 五月
大前に被はる年の初めかな	波多 昌子
瑞雲に日差し零れて明の春	尾崎いつ子
初明り八乙女山の浮き出づる	宇野 恭子
初神楽日がな笄す散居かな	長谷 登世
知らぬ間にお降となりいつか止み	田上真知子
初日さす棟にこがねの家紋かな	今井 純良
除夜の鐘一つ一つが過去となる	森田 桂子
幾重にも天空染めて初日の出	中川 英堂
若水を汲み端溪の巖を見る	佐々木春子
巫女の袖触れし回廊初詣	窪田 悦子
年新たみくじ売る巫女みな若し	上古 眞澄
「日本の祈り」を舞ふや初鏡	武田東洋子
初詣七十路の難褓い受く	高原 禮子
古郷に住みて砺波野初景色	五十嵐千恵子



# 団体参拝日誌抄

(平成二十八年十二月〜平成二十九年三月)

平成二十八年  
十二月

十五日・二十日  
一宮巡拝会

平成二十九年  
一月

- 三日 福野糸瓜句会
- 四日 若林遺族会
- 十四日 北日本新聞社主催  
となみ野バスツアー
- 同日 高瀬高宝会
- 十五日 南砺市遺族会井波支部
- 同日 高瀬青友会
- 二十四日 庄親会  
(高瀬小学校  
昭和二十九年卒  
同窓会)



記念撮影 (庄親会)

二月

- 二十五日 砺波ライオンズクラブ
- 一日 富山県電気工業工事  
組合南砺支部  
となみ野電設研究会
- 五日 立正佼成会高岡教会
- 五日 熱実山参拝団
- 五日 三軌会 北陸支部  
(写真撮影会)



写真撮影会 (三軌会)

● 二十三日 愛知県神社庁総代会  
新城支部

● 二十五日 いなみ混声合唱団



拜殿にて奉納

三月

● 十二日 富山県神社庁主催  
「神社へ行こう」  
参加者一同



大祓詞奏上



記念撮影

● 十三日 戸隠神社  
榎宜楠川裕一氏  
職員研修旅行(九名)



宮司講話

- 十六日 事任八幡宮  
宮司 譽田潤氏
- 二十一日 栃木県神社庁  
教化委員会(十一名)  
委員長 小幡正之氏
- 二十三日 皇學館大学 木村徳宏  
助教以下文学部神道  
学科学生(七名)
- 二十九日 米原商事(株)

(敬称略)

## 高瀬神社の思い出

（高瀬神社本殿・拝殿竣工祝に歌舞伎奉納）

氏子 石岡 政清



昭和22年に奉納された歌舞伎

高瀬神社では、昭和二十二年（一九四七）に本殿、二十三年（一九四八）には拝殿が新しくなり、竣工祭が行われた。終戦直後で物資は不足し、心の余裕もない時代だったが、戦争から戻った地元の二十代を中心とする約三十人が、神社の節目を祝おうと素人歌舞伎を披露した。あの頃は終戦で自由に芝居ができる喜びがあり、苦しかったけれども希望があった。

歌舞伎が盛んだった北野村（現在の南砺市城端地域）の上田三作さん（故人）から指導を受け、二十二年は「佐倉義民」など、二十三年は「仮名手本忠臣蔵」を神社境内で上演した。大勢の観客が訪れ、大いに盛り上がった。当時の出演仲間の半数以上は、すでに亡くなられた。その後、遺族の家を回り、化粧と衣装姿で決めのポーズで撮った写真十五枚を集めた。配役などの記録は残っていなかったが、北野地区の小川栄進さんに見てもらい確認した。「この衣装を着ているならば、この役だ」と判断した。写っている人の顔は自分が覚えており、人と役柄をす

べて一致させることができたので、改めて配役表を作成した（左表参照）。青友会長の大野正夫さん、小西孝一さん二人ともすでに亡くなられている。芝居に出演された方で私より年上の方も一人になった。私の手先の写真帳を見て懐かしく思い出している。

歌舞伎の衣装代、借り賃も高く、特に「佐倉義民」、「大功記」、「忠臣蔵」、「大星由良之助」、「加藤清正」、「光秀」、「遊女おかる」、「寺岡平衛門」、「籠屋」の籠（役者を乗せる道具）を割高で借りている。会計係も支払いで一苦労されたと思っている。歌舞伎芝居は現在でも東京、大阪、京都といった大都会で好きな人でないと高い入場料払って見に行かない。そんな高級な芝居を片田舎で奉納したことは村民一致団結の力である。太平洋戦争が終って七十二年が過ぎました。若い人は神社境内で奉納された芝居のことは知らないでしょう。年寄りでも忘れかけていると思います。このことは後世に伝えておきたい事の一つである。

○作成させた配役表

昭和二十二年九月六・七日  
午後五時開幕

高瀬神社本殿竣工奉祝祭

歌舞伎

高友団 高瀬青友会

「佐倉義民四幕」

「大功記十段一幕」

「非人影清一幕」

◎式三番双

◎佐倉義民伝

佐倉宗五郎

おさん

目明喜右エ門

籠拔長吉

宗太郎

流し湯舟 甚兵衛

国松

捕手

捕手

捕手

◎絵本大功記十段

(尼ヶ崎の段)

光秀

光秀の妻

光秀の母

さつき

小西伊佐エ門

重次郎  
初菊  
眞柴久吉  
加藤清正  
石岡 薫  
川岸輝夫  
石川 護  
小西 活

◎佐倉義民伝牢屋の間

宗五郎  
宗五郎の父  
十右エ門  
玄場  
おさん  
取手  
取手  
取手

岩倉節郎  
藤井哲雄  
藤井友一  
岩倉巧二  
中島外雄  
岩倉篤孝  
岩倉喜一  
堀 義雄

注進者  
注進者  
三味線  
太夫

師匠 振付  
高瀬青友会会長  
大野正夫

昭和二十三年九月七・八日  
午後五時開幕

高瀬神社本殿竣工奉祝祭

高友団 高瀬青友会  
素人大歌舞伎

「仮名手本忠臣蔵」  
五段 六段 七段

◎箱根靈験記(滝の場)

勝五郎一同  
滝口上野  
勝五郎  
初花  
筆助  
八  
さはらべ  
次郎  
九間  
百姓

石川 護  
岩倉節郎  
田辺良三  
寺西外治  
山田 徹  
堀 義雄  
長谷真一  
岩倉友吉  
岩倉金蔵

◎六段

千崎弥五郎

原郷衛門  
早野堪平  
母おかや  
娘おかる  
一文字屋

岩倉芳治  
藤井友一  
岩倉巧二  
石岡 薫  
岩倉公介  
水上 修

◎七段

矢間重太郎

大星力弥  
竹森喜多八  
大星由良之助  
寺岡平衛門  
千崎弥五郎  
遊女おかる  
斧九太夫  
鷺坂伴内  
仲居  
仲居  
仲居  
籠力キ

長井政雄  
中島允熙  
川岸輝夫  
中島利長  
小西富吉  
小西金市  
中島外雄  
石岡政清  
岩倉喜一  
石岡修三  
四塚敬三  
石岡清志  
水上秀五郎  
豊川隆志

豊竹美登里  
豊竹 縁

狸の角兵衛  
百姓  
籠屋捕手  
百姓

清雲秀雄  
山田 滋  
豊川栄治  
岩倉篤孝

◎非人影清

影清  
島山重忠  
四郎  
人丸

小西孝一  
豊川芳雄  
岩倉公介  
田辺 登

寺西外治  
中島利長

小西孝一  
豊川芳雄  
岩倉公介  
田辺 登

寺西外治  
中島利長

※このコーナーは、氏子古老のお話を聞いて記録しています。石岡政清氏は昭和三年のお生まれで今年数え九十歳です。更なるご長寿をお祈り申し上げます。  
※配役表については、ご提供いただいた資料に沿って表記しました。



## 参拝者休憩所新設

昨年十二月二十六日、宮司・責任役員・相談役・株式会社藤井組・有限会社建築倶楽部・高瀬区長参列のもと、参拝者休憩所竣工清祓式を斎行しました。清祓式では、権宮司が祝詞を奏上し、御参列の方々が玉串拝礼を行いました。

祭典後、新参集殿にて感謝状を贈呈し、建築にご協力頂いた皆様に慰労しました。

普段は休憩所となり、お正月には、納札所として利用することになっています。お手洗もきれ



いになりました。どうぞご利用下さい。

【感謝状授与者】

藤井組 代表取締役社長 藤井秀之氏

建築倶楽部 代表 藤井一彦氏

※竣工清祓式にあたり、氏子の皆様よりお祝金をお供えいただきました。

## ご案内

### 歯固め石

当社では、お食い初めの石「歯固め石」を授与しております。ご希望の方は社務所へお声がけ下さい。

※「歯固めの石」とは

生後百日頃は、赤ちゃんの歯が生え始める時期です。お食い初めの行事では、赤ちゃんに石のように丈夫な歯が生える事を願う「歯固めの儀」を行います。この「歯固めの儀」で使われる石の事を、「歯固め石」と言います。



## 戌の日 (安産祈願)

4月 5・17・29日  
5月 11・23日  
6月 4・16・28日  
7月 10・22日  
8月 3・5・27日  
9月 8・20日

腹帯のお祓いも行いますので  
ご持参下さい。

## 団体参拝のご案内

古来より様々なご縁を結ぶ福の神・結びの神である大國主命（大國様）をおまつりする当社では、会社の参拝（安全祈願・創業記念日）、必勝祈願、同窓会記念参拝等の各種団体の祈願を受け付けております。

お問い合わせは社務所へお願いたします。

## 宝物殿のご案内

古代の石器や加賀藩主前田家奉納品など、当社社縁の宝物を展示しています。ご参拝の際は、どうぞご観覧下さい。

### 開館日時

事前に社務所へお申し込み下さい。

拝観料 無料



初詣旅行

一月十七日より、二泊三日の日程で、当社主催の初詣旅行を企画し、出雲大社・出雲大神宮を正式参拝しました。  
積雪が少なかったお正月とは打って変わり、天候が心配されるなかでの出発となりましたが、大雪の影響もなく、無事に終えることが出来ました。



出雲大神宮（京都）



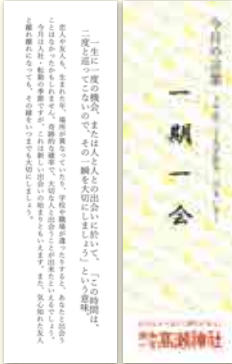
出雲大社（島根）



八重垣神社（島根）



社頭にて配布しています



毎月社頭にて配布しています。  
先人達の名言や格言は、現代に生きる我々の人生における教訓を与えてくれます。  
お参りの際には、手にとってお読み下さい。

今月の言葉

場所

高瀬神社御本殿

日時

九月三十日(土)  
午後五時～七時

平成二十五年、二十七年と当社で奉納され、多くの皆様にご好評頂きました島根県出雲地方に伝わる伝統芸能「大土地神楽」（国指定重要無形民俗文化財）が本年の観月祭にて奉納されます。名月を愛で、神話伝承の神楽をご覧下さい。



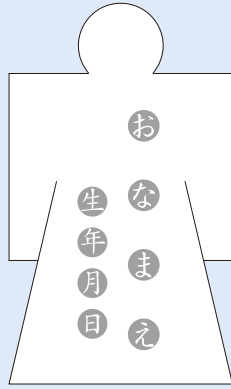
観月祭「大土地神楽奉納」

なごし おおはらえ  
**「平成二十九年夏越の大祓」のご案内**

日時 六月三十日(金) 午後三時より

「大祓」は、知らず知らずのうちに犯した罪穢を半年に一度祓い落として元の清らかな心身に戻り、続く半年も健全に過ごせるよう願う神事です。

拜殿にて「大祓詞」おおはらえのじほを奉唱し、各人が「人形」ひとがたに罪穢を移し、特に「夏越の大祓」は前庭に設けられた「茅の輪」をくぐり、心身を清浄にもどします。これからの暑い夏を健康に乗り切るための大切な神事です。どうぞご参列下さい。



※ご希望の方には案内状と人形を送付いたしますので、社務所までご連絡下さい。



にんぎよつかん しゃやさい  
**第十八回 人形感謝祭のご案内**

日時 七月十六日(日) 午前十時より

古くなった人形に感謝し、神社へ納めるお祭り「人形感謝祭」を行います。納められた人形はお祓いの後、お焚き上げをしてお別れします。子供の成長とともに使わなくなったり、壊れたりした「人形」や「ぬいぐるみ」をご持参下さい。

**受付**

午前九時から午前十時まで  
 (当日のみ受付)

**祈願料**

三千円からご志納願います(みかん箱一つ程度)。  
 ※大量にある場合や大きなものについては、事前に社務所へお問い合わせ下さい。



第十八回 人形展(一期一会)  
 七月十五日(土)～十七日(祝) 開催  
 「午前十時～午後四時」



# 奉納

○古代米「御神稲」

富山市婦中町

松田久男殿

池田栄蔵殿

○木彫彫刻「福酉」

川原和夫殿



○本殿木階下門帳 一条

○和装衣紋掛け 十本  
二三谷千津子殿

○大型テレビ二台

寺西清子殿  
寺西友則殿



○軍刀

田邊良三殿



脇差「助重」

※テレビは、参集殿、休憩所にそれぞれ設置してあります。  
軍刀も宝物殿にて展示してあります。

## 辞令

石渡 和貴

権禰宜を命ずる

中橋ゆきな

巫女を命ずる

平成二十九年一月一日

今井茉莉奈

願いにより巫女を免ずる

平成二十九年三月三十一日

神道青年全国協議会

「巫女の為の神宮研修会」修了



宇治橋前（記念撮影）

## 編集後記

山下 翔子 巫女  
小倉南留美 巫女  
井元梨恵子 巫女  
中橋ゆきな 巫女  
平成二十九年二月六日～七日

今回、紙面にて氏子の石岡政清氏の記事を掲載しました。氏子の皆様が団結して奉納した歌舞伎は、敗戦の衝撃を受けた人々に大きな感動と元氣を与えたことだと思えました。今後高瀬村の歴史を氏子の皆様から教えて頂き、掲載したいと考えています。今回の記事についてご存知ない方は、是非ご覧下さい。

各種お問い合わせにつきましては、社務所へご連絡下さい。  
(0763) 8210933

## 社報バックナンバー

当社ホームページで  
ご覧頂けます。

## 〔表紙写真〕 御物石器

当社社の御神宝(約三千年前の石器)。呪術的な道具だと考えられている。

## 越中一宮 高瀬神社 ブライダル

縁結びの神様に誓う  
 伝統の結婚式を挙げていただく、  
 一生に一度の日だからこそ、  
 一日一組のカップルの為だけに、  
 このバンケットは生まれました。



一日一組限定の

## おもてなしバンケットホール

このバンケットホールでのご結婚披露宴のご予約を承っております。  
 お気軽にお問い合わせ、ご相談いただきますよう、お待ち申し上げます。

只今  
 冬の婚礼  
 ご予約  
 受付中

縁結びの神様のもとで幸せのお手伝いをしてみませんか

やさしいあなたの力を必要としています



土・日・祝日の空いた月曜日だけ! 事前にシフトを決めて働きましょう!!  
 未経験者歓迎! 丁寧に教えます!

仕事内容 結婚式・披露宴でのサービス業をご担当いただきます  
 勤務時間 土・日・祝日/9:00~18:00の間(披露宴時間による)  
 勤務地 南砺市高瀬291 高瀬神社内  
 給与 時給1,000円以上 研修30hは時給900円  
 待遇 制服貸与 食事手当500円

月単位のシフト制なのであなたの都合に合わせて働けます

高瀬神社 ブライダル事業部  
 TEL (0763) 82-1131 中井 面接随意・先ずはお電話を

あなたの人生に、神社がある。越中一宮高瀬神社

〒932-0252 富山県南砺市高瀬291  
 ご予約はTEL0763-82-1131

高瀬神社 🔍 検索